

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

13わたしたちを誘惑に遭わず、
悪い者から救ってください。』

14もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。15しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。」

【奨励者の紹介】肥田信長（ひだ・のぶなが）先生

日本基督教団正教師。北海教区教務教師。

1974年京都市生まれ。1999年4月より2年間同志社国際中高等学校嘱託講師。2001年4月より6年間山形学院高等学校聖書科主任。2007年4月より酪農学園とわの森三愛高等学校宗教部長・宗教主任。

- 趣味：旅行（旅行会社で添乗員経験有）
- 特技：スキー（1日滑りに出ると40～50本リフトに乗ります）
- 近況：北海教区だけではなく、関東、中部、関西の教団教会、メソナイト教会、日本キリスト教会、日本同盟基督教団等の説教応援も行う。2017年度には酪農学園の男性教職員の中で初めて育児休業を取得し、半年間学校現場を離れるという体験をした。不登校対応アドバイザーでもある。
- ◆ とわの森三愛高校は酪農学園大学附属高校であり、キリスト教主義と高大連携の観点から、高校と大学の礼拝においても相互協力しています。

【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

大学礼拝では、学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。どなたでも参加できます。毎週礼拝後にオルガン前で練習をします。後学期には、クリスマス・コンサートもありますので、積極的にご参加ください。歌ってみたい学生は、礼拝後にオルガン前にお越しください。

【次回の大学礼拝】2019年7月16日（火）10時40分

次回の大学礼拝は韓国のCCC（Campus Crusade for Christ）の学生たちによる特別プログラムです。CCCは学生によるキリスト教の宣教活動のグループであり、世界の様々な地域で活動していますが、本学では韓国の学生と日本の学生の交流の場として位置づけて行っています。日韓関係の悪化が報じられていますが、次世代を担う韓日の学生たちが相互理解を深め、文化交流をする絶好の機会です。

なお、礼拝後には茶話会がありますので、積極的に出席して、韓国の友人をたくさん作ってください。

【前回の大学礼拝】2019年7月2日（火）

学生 277名 教職員ほか 9名 合計 286名

【大学礼拝週報】 2019年度 第12号（前学期第12号）

2019年7月9日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 小林昭博（宗教主任）
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「こは聖なる十戒なり」（J. C. バッハ作曲）

讃美歌 讃美歌 380番（たてよ、いざたて）

聖書 マタイによる福音書 6章 6-15節

祈り

さんび

酪農学園大学聖歌隊

奨励 「ゆるしの痛み——育休で体験したこと」 肥田信長

報告

讃美歌 讃美歌 90番（ここもかみのみくになれば）

後 奏 「イエスはわが喜び」（バイエル作曲）

【本日の聖書】マタイによる福音書 6章 6-15節

6だから、あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。7また、あなたがたが祈るときは、異邦人のようにくどくどと述べてはならない。異邦人は、言葉数が多いければ、聞き入れられると思いついでいる。8彼らのまねをしてはならない。あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ。9だから、こう祈りなさい。

『天におられるわたしたちの父よ、
御名が崇められますように。

10御国が来ますように。

御心が行われますように、

天におけるように地の上にも。

11わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

12わたしたちの負い目を赦してください、

わたしたちも自分に負い目のある人を

赦しましたように。